

あなたの声を……

第26号
2007年4月

こうら議会だより

発行／〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町議会 TEL0749-38-5060 FAX0749-38-3421 編集／議会広報特別委員会
ホームページアドレス <http://www.biwa.ne.jp/~kouracho/index.htm>



(桜の下で)

◎議会報告・審議内容 ……	2
◎常任委員会報告 ……	5
◎一般質問 ……	7
◎臨時議会 ……	10
◎議会構成 ……	11
◎ふれあいいきいきサロン ……	12
◎議会日誌 ……	12



(春の水音)

平成19年度当初予算会計別総括表 (単位：千円)		
会 計 区 分	平成19年度	増 減
一 般 会 計	3,200,000	12,000
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	923,165 137,171
	老 人 保 健 医 療 事 業 特 別 会 計	760,939 △ 4,325
	介護保険特別会計	472,093 8,467
	墓地公園事業特別会計	2,535 △ 1,081
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業 特 別 会 計	113,480 △ 27,523
	土 地 取 得 造 成 事 業 特 別 会 計	10,002 4,000
	下水道事業特別会計	610,977 △ 145,061
	水 道 事 業 会 計	316,891 △ 46,337
	収 益	177,299 △ 1,771
	資 本	139,592 △ 44,566
特別会計予算合計		3,210,082 △ 74,689
総 予 算 合 計		6,410,082 △ 62,689

新年度の予算編成の基本方針

甲良町長 山崎義勝

昨年12月地方分権改革推進法が成立し、地方公共団体の自主自立性を高めることを基本理念として、三位一体改革を続行する次なる改革を目指しています。収入財源が削減されるなか本町では、集中改革プランの推進、単独の行財政運営の継続を目指して、予算編成に当たりました。

恒久減税の廃止等にもなう町税1億円の増額

と未収金の回収増、土地売却等の財源確保に努めました。歳出では退職者不補充で人件費の削減、経常経費の節減をしましたが、元利返済など義務的経費や福祉経費の増額があり、結果として基金の取り崩し1億1000万円を不足財源に充てました。

私の公約であります、ふるさと交流村の実現に向けて、基本設計業務が

国の採択にスムーズにながため、計画に対し、各般の意見の反映や農業者が希望をもって取り組めるよう、産業振興課に農政推進専門員を配置し、活性化にむけて前進したいと思います。

行政内部組織を効率的に運営するため、グループ制の導入をしました。これは従来の縦型係制をやめ、横型グループ制にして決着区分を明確迅速化しました。議員各位から、この組織改革について、ご指摘、ご意見を賜れば幸いです。

平成19年度予算成立

一般会計

32億円

前年対比

1,200万円

微増

特別会計

32億1千万円

前年対比

7,468万円

減額

平成19年3月定例議会は、3月5日(月)から3月19日(月)までの15日間の会期で開かれた。今回は、議案29件、発議1件、選挙1件、その他2件が提出され、1議案が否決、その他は原案通り可決決定された。また、一般質問は3月19日3人の議員が行った。

当初予算の主要施策の概要

財政硬直化進む 7つの重点事業にわずか9,636万円の配分

主なものは地域防災の充実に向けて消防自動車に2,100万円、子育て支援に3,200万円、税制制度改革で町税収入は1億2,000万円の増(国からの交付税で同額減額される。)

- まちづくり施策
 - 地域自治振興補助金 1,359万円
 - まちづくり研修事業 120万円
 - せせらぎ夢現塾開講 165万円
- 青少年育成・子育て支援施策
 - 子育て支援センター運営 215万円

図書館ブックスタート事業 12万円
特定不妊治療費助成事業 33万円



子育て支援センター

規約の変更 (収入役を廃し会計管理者を設置する) 4件

- 滋賀県市町村交通災害共済組合規約
- 滋賀県自治会館管理組合規約
- 滋賀県市町村職員退職手当組合規約
- 滋賀県市町村職員研修センター規約

甲良町条例の一部改正 9件

- 職員給与に関する条例
- 管理職手当を定率制
- 職員給与に関する条例
- 管理職手当を定率制
- 職員給与に関する条例
- 管理職手当を定率制
- 職員給与に関する条例
- 管理職手当を定率制
- 職員給与に関する条例

審議内容

議案(29件)

文化財修理補助 22万円

5、安心・安全のまちづくり

- 消防ポンプ自動車更新(購入) 200万円
- スクールガード支援 20万円

6、観光振興施策

せせらぎ夏まつり 400万円
藤堂高虎公生誕450年祭補助 40万円
せせらぎウォーキング 30万円

7、教育振興施策

中学生海外派遣研修補助 275万円
愛犬通級教室設置負担金 186万円
フッ素ではつらつ 15万円

3、農業農村振興施策

農地水環境保全向上対策 930万円
農政推進専門員設置 210万円
パイプハウス購入補助 75万円
園芸作物振興補助 60万円

4、文化振興施策

町指定文化財説明板設置 120万円
郷土先人調査研究費 50万円

平成19年度一般会計予算					
【歳入】 (単位：万円)			【歳出】 (単位：万円)		
款	金額	前年比較	款	金額	前年比較
自主財源	町 税	9億4,147	1億2,630	民 生 費	9億5,732 7,729
	繰 入 金	1億3,668	△ 495	総 務 費	4億8,402 △ 810
	諸 収 入	6,974	84	借入金返済	4億7,079 2,668
	分担金・負担金	4,834	△ 886	衛 生 費	3億7,870 △ 529
	使用料・手数料	4,273	350	教 育 費	3億7,749 △ 466
	繰 越 金	4,000	0	消 防 費	1億2,022 1,977
	財産収入・寄付金	481	△ 113	諸 支 出 金	1億0,640 118
依存財源	小 計	12億8,377	1億1,570	土 木 費	1億0,570 △ 1億0,238
	地方交付税	12億5,000	△ 2,000	農林水産業費	7,640 453
	県 支 出 金	2億0,193	1,495	議 会 費	6,914 140
	借 入 金	1億8,460	△ 680	商 工 費	4,235 168
	国庫支出金	1億1,280	△ 2,645	その他歳出	1,147 △ 10
	地方消費税交付金	6,200	0	合 計	32億0,000 1,200
	地方譲与税	4,200	△ 5,900		
	その他交付金	4,200	△ 1,380		
	諸 収 入	2,090	740		
	小 計	19億1,623	△ 1億0,370		
	合 計	32億0,000	1,200		

議案第17号 甲良町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正、議案第18号 甲良町教育委員会教育長の給与および勤務時間等に関する条例の一部改正、議案第19号 甲良町議会議員の報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について

以前に、経費節減を求めて、議員定数の削減と議員報酬の減額が議員発議で同時提案された。定数削減案が可決され、来年2月から経費節減の効果が出てくることになった。更に議員間



藤堂与三郎委員長

常任委員会報告

総務文教

で検討する必要がある。他の特別職、職員など駐車料金を含めて全体の報酬・給与を見直すべきだ。議員の報酬は高いと思っていなので、来年2月までは現状で行くべきだ。また、報酬審議会の答申を尊重し一歩前へ進めて受けとめることが大事だ。との意見がだされた。

議案第25号 平成19年度甲良町一般会計予算歳入の部全款について

県補助金の地域教育課題特別対策補助金500万円に対して、制度が変わったことの質問に、従前は、学校教育のあて指導主事として県から校長クラスの職員が派遣され、学校教育の指導にあたった。この制度の存続を望んだが割愛された。替わりに、約2分の

1程度の500万円を補助金としていただが、7・8百万円の町負担が必要となる。人事は県が行うが、その間（3年）の身分は町職員となり、町の監督下に入る。職務内容は今までどおりであるとのことであった。

一般会計予算歳出の部所管分について

企画費の夢現塾講師謝金及び研修補助金130万円に関わつての質問に、今回は、35から45歳の年齢制限を設けて、区長推薦と自由公募で20数人の塾生を募り、集落の自治運営と集落間を越えた町全体の自治運営についてを研修テーマにし、年間10回の開催を計画しているとのことであった。

他に、公債費の定時償還分や一時借入金金の借換えの検討、推進について。長寺、呉竹教育文化振興費に関わつて、実績報告の義務についての意見、指摘があった。



大野與一委員長

議案第25号 平成19年度甲良町一般会計予算について

ごみの収集運搬業者の選定基準についての質問に、粗大ごみの収集については、見積入札を行い2業者にお願いしているとのこと。

また、収集運搬業は他にもいると思うが、その点どうかとの質問に、県との協議で、「1日で処理能力のある業者」ということで町内の2業者にお願いしているが、今後は検討していきたいとのことであった。

住民検診について1千313万円計上しているが、これで全うできているのかどうかとの質問に、当

議案第26号 平成19年度甲良町国民健康保険特別会計予算について

新聞等で国民健康保険税の滞納が増えていると社会問題になっている。今回の予算構成はどのようにしたのかとの質問に、滞納問題が大きな問題になっており、担当課としても税務課と連携をとり、住民課職員3班編成で随時滞納整理に取り組んでいる。特に短期保険証を32人、資格証明書を31人に発行している。今後引き続き滞納者に対して、協力に指導していきたいとの事であった。

議案第29号 平成19年度甲良町墓地公園事業特別会計予算について

20年という長い計画をしているが、何とかでき

ないかとの質問に、販売促進については、あらゆる手を尽くして啓発をしている。町外にもPRをして販売促進に努めているとの事であった。

議案第30号 平成19年度甲良町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

滞納分について20%の予算計上は、努力目標を高くして喜ばしいことだが、その中には大変な努力がいると思う。がんばってほしい！

議案第32号 平成19年度甲良町下水道事業特別会計予算について

22年ぐらいに下水道事業が終わるが、工事後における陥没の修繕等、見直しをされたいとの意見に対して、どうしても下がっていく傾向があるので修理はするとの事であった。

1世帯1区画に、但し書きを加え、町長が認めたときはこの限りでない。

13、特別職の職員給与に関する条例

給与の改定（減額）町長 71万円↓66万円

副町長 60万円↓55万8千円

14、教育委員会教育長の給与および勤務時間等に関する条例

給与の改定（減額）教育長 57万円↓53万円

15、議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例

報酬の改定（月額）議長 26万5千円

副議長 19万円

委員長 17万5千円

議員 17万円

否決（議員発議で検討）

17、介護保険特別会計

歳入歳出 減額 △1,245万1千円

給付額確定の（調停）繰越明許費 420万円

18、墓地公園事業特別会計

歳入歳出 増額 862万3千円

一般会計より借入金 1,036万円

19、住宅新築資金貸付事業（墓地の売上不振を補填）

住宅新築資金貸付事業特別会計

歳入歳出 増額 差額 13万4千円

元利収入が増額して、基金繰入を減額した

20、土地取得造成事業特別会計

歳入歳出 増額 1,366万1千円

財産売り払収入の増額

19年度予算 9件

常任委員会です管別に審議の結果を本会議で報告

21、一般会計

22、国民健康保険特別会計

23、老人保健医療事業特別会計

24、介護保険特別会計

25、墓地公園事業特別会計

26、住宅新築資金等貸付事業特別会計

27、土地取得造成事業特別会計

28、下水道事業特別会計

29、水道事業会計

選挙

1、滋賀県後期高齢者医療広域連合会議会議員の選挙

当選人 甲良町長 山崎義勝氏

選挙

1、議会委員会条例の一部を改正

予算、決算常任委員会を新設

議案（議会提案）

平成18年度 一般会計補正予算の説明

1. 繰越明許費（平成19年度実施）

地域介護福祉空間整備補助	15,000千円	24時間訪問介護の施設
地域用水機能増進事業負担金	3,592千円	ダム生活用水機能増進事業
ふるさと交流村拠点施設計画	4,064千円	事業策定計画準備予算
合 計	22,656千円	

2. 債務負担行為（町予算で将来負担を約束したもの）

農業経営基盤強化利子助成金	170千円	平成19年度～29年度まで
---------------	-------	---------------

3. 地方債補正（町の返済計画付き長期借入金）

公営住宅建設事業費	補正後金額	26,700千円
	補正前金額	35,100千円
	補正額	△ 8,400千円

4. 一般会計補正予算額 △37,228千円 （補正後予算額 32億6,852万5千円）

歳入の主なもの		歳出の主なもの	
町税（法人税の増による）	26,462千円	総務管理費（基金利子積立の増）	4,221千円
地方交付税	4,649千円	特別会計貸付金（墓地公園会計）	10,360千円
財産収入、諸収入他	3,397千円	給食センターその他	1,636千円
分担金及び負担金（広域保育料の減）	△ 1,824千円	社会福祉費（障害者自立支援給付減）	△ 17,049千円
国庫支出金（障害者自立支援給付費減）	△ 6,057千円	住宅費（事業の減）	△ 23,558千円
県支出金（保育園運営補助減）	△ 16,116千円	保健衛生、児童福祉、清掃費、農林業費	△ 7,826千円
町債「長期借入金」（公営住宅建設事業減）	△ 8,400千円	消防費（事務委託の減）	△ 2,850千円
繰入金（基金取り崩しとりやめ）	△ 39,339千円	社会教育費、中学校費他	△ 2,162千円
合 計	△ 37,228千円	合 計	△ 37,228千円

一般質問 Q & A



中田要治議員
Q 子供のいじめ、虐待、ひいては自殺、私らもやんちゃやケンカをしたが、そういうときは誰かが止めるにはいった。今はそういうことも無く、大人社会も見えて見ぬふりをする。教育長はこの事をどう考えるのか。
A 教育長
 わたしもある意味では、大人社会の反映がいろいろな形で子供に影響していると思う。親が自分の子供をきちつと育てるポリシーを持ち得ていない。親自身が悩みを抱えていることが問題であろうと思う。学校と保護者が綿密に連携をする必要がある。社会は第二の学校であり、

子供のいじめ虐待は 大人社会の反映か
Q 今日でも千葉で子供が亡くなった。いじめとか、自殺とかより子供が100で切れるまへの70か80で苦しんでいる子供がある。先生方はプライドが高いので、隠して包んでいるケースがあるが、こんな事が無いよう十分注意していただきたい。
A 議員研修で金沢の英語教育を視察した。今の子供は言葉が短い、相手に説得力がない、言いにくいことはメールで何でもできる。そんな子供が多い中で、日本語の教育をきちんとして、それから英語なり、中国語なり学ぶのであれば結構だと思うが教育長の考えは。



A 教育長
 私も同感、教育特区ということ、小学校で英語を導入する取り組みがなされていた。金沢はレベルが高く時代の要請という事もあった。やはり母国語である国語力をつけることが一番大事であり、思考力や論理を形成して、日本の伝統文化を積み重ねて行くことが日本人であることにつながる。国際化がよく言われるが、コンピュータや英語を学ぶことが国際人の必須条件でない。
Q 子供らの登下校について体験安全教育はやっているのか。
A 教育総務課参事
 登下校については、駐在所から小学校に来て

墓地の残地をどうするか 永代使用料23万は高い

Q いろいろアンケートをして墓地は定義づけられた。肝心なのは金額だ。30年かかってそのままだっていいのか。
A 住民課長
 積算コスト9、141万を基準に単価を設定したのが23万円、ご理解をねがいたい。

コストで売価を決めるのは簡単だ。これでは残地の解決はしない。一般会計から補填する状況になっているにどうする。(議論がつづいた)

町の財政については 法人経営のつもりで自治体も民間流におき直し財政運営

Q 夕張の財政破綻、今や学校も法人化の時代、町長も政治家やなしに経営者のつもりで、今後の収入を考えて厳しくやっていただきたい。
A 町長
 全体的な財政運営については、夕張の破綻以降自治体会計を民間流に見直そうという動きが広がっている。当町ではこれを守つてもなく自主的な財政運営に心掛けています。墓地の残地にしても時流的に限界かなと思つて

いる。私共に出来ることは、いろんな滞納を含めて徴収に努力することであり、予算審議の中では、手ぬるいとの意見もあり職員に叱咤激励を重ねながら陣頭指揮にたつて取り組む。

主な質疑・討論の様子

◇甲良町国土利用計画(第3次)の議決

【質疑】
Q 西が丘森林が大量に無くなる件で、所有者は誰か、事業内容はどうか。
A 図面表記のとおり所有者は大林組、事業内容は内発的活性化知的休養地と言う現行の計画を踏襲することです。
Q ふるさと交流村(是非は論議中だが)との関係はどうか。
A 国道307号線の金屋地先のグレー配色の箇所を大筋で土地利用上定めている。
Q 土地の効率的利用ということになるが、土地振興、開発税のわずかな課税でも考えているのか。
A 甲良町の全域が未線引きの都市計画区域であり、現時点の課税は考えていない。
Q 宅地、工業用、その他の宅地、道路があるが、特に工業用とその他の宅地は内容的に目玉はあるのか。
A その他の宅地は事務所、店舗等です。
Q 道路に3haしかない、歴史的にも地域振興の基本は道路、湖東三山インターに伴う新設拡充はないのか。
A 現時点ではあきらかにしていない。次回見直しが22年なので、この中で構想を定める。

【討論】 賛成意見

1 西が丘の森林を開発して、その他土地に利用区分される。運動公園で苦い経験がある。
 2 在土地先の工業地、工場集中を先導する、農業不振と農地の手放し、産廃業者とのトラブルなど、町の方向と内容が不十分(とりたてて賛成討論はなかったが原案可決)

◇特別職の給与改正

【質疑】

Q 報酬審議会の答申によるものと思うが、審議委員の人数、改正理由は、
A 条例による委員は7人、後日研究会に資料提出する。

【討論】 賛成意見

1 町長、教育長の報酬改正については、委員会の論議が報告され削減を提案されたことに評価したい。議員報酬についても、多くの議員の立場は表明されたが、経費削減にわずかでも貢献すると言う、メッセージは大事である。
 2 報酬審議会を経ての上程は尊重すべきである。
 議員も昨年来10%以上の削減を発議して否

【討論】 反対意見

1 結論的に反対の立場をとるが、報酬減額には1年前から議員発議で進めてきたもので、役職間の配分も考え併せて、早急に議員発議で決したい。
 2 昨年の議員発議の減額は、議員定数削減を先行可決したため否決されたが、今回も議員発議で解決したい。
 (議員報酬削減は賛成3、反対10で否決)

◇平成19年度一般会計予算

【討論】 反対意見

滞納額が17年度で3億2、000万円あるのにその収入目標はわずか2、900万円、滞納が生じた背景にまともに向き合っていない。同和根拠法が消滅して5年になるのに固定資産税の減免が続いている。町民の暮らしや福祉、教育に政策の中心がおかれていない。



甲良ふるさと交流村構想 地につかない足元事情

西澤伸明議員

Q 甲良町の周辺環境、足元事情がおぼつかない矛盾材料があふれ、町民からは、基礎がないところに無理など、色々な声が聞かれる。「すてきにまちづくり」を壊す内因、外因への対応が必要。

外因では、政府の好景気持続宣言とは反対に中小企業の倒産発生。彦根市民病院の産科医不足で、周辺を含む十四、五万の人口規模で分娩機能を備えた病院が1つしかない事態は異常で、若い世代がますます住めない状況。アイム店内店舗の撤退も、コスト削減競争などの激しさの中で、地域の生活



基盤がおびやかされている。何よりも厳しい現実、町民のふところ・家計と心が相次ぐ負担増で冷え込んでいること。

自民、公明政治により、正規雇用が減らされ、定率減税の廃止、年金課税の強化、医療費、介護保険、住民税の増大などで、地域の衰退が現実の姿。これには、政治を変え底から応援する施策を、少なくとも町としてはその一部でも充実しなければ、真の元氣は出てこない。

町内の「すてき」を壊している要因は、旧同和特別の枠組みを依然として行政が垣根をつくっていること、盗水や放置土地、不法占拠の放置、新築資金の膨大な滞納など、同和对策事業の後始末が迫られている。これらの現実を認識した上での計画か、大変疑問。

町民、農業者、とりわけ

け専業農家がこの計画の中心に座っているかどうか、住民アンケートを実施し、公開を求める。

A 地域振興主監

農政の大改革が行なわれ、営農組合の充実、法人化の取り組みを支援できる計画にする必要があるとも考えている。町農業の担い手となる方々や団体の意向が重要と考えており、知り得る情報等を提供し、農業者だけでなく、広く商業者、むらづくりのリーダーの方などを含め意識確認し、計画に反映していきたい。計画の立案に伴う住民の意向、意見は、方針決定の根拠資料となる部分なので、整理をした上で、公開したい。

Q 農業生産の実績、販売実績などが向上しているのか。せせらぎ直販所の開設から現在まで伸びているのか。延びるような援助策をしているのか。

A 地域振興主監

せせらぎ農産物直売所は、ほぼ同等の金額で、年間300万前後の売り上げ

【その他の質問】

甲良ふるさと交流村構想1、湖東三山のインターは未知数の計画。でき



町有地に設置の公共マスと水道メーター

れば客が増えるというのは、何を根拠に需要予測を立てているのか。お金は幹部職員が出さず、町民が負担するものと指摘。

2、元氣になる基礎は、米、野菜、果実、花、加工品など、指導の充実、生産支援などが必要と質問。

町有地の管理について

1、町職員が居宅する家の水道メータと汚水マスをも町所有地に設置し、また代金を払っていないのに建築確認を容認したり、特定人物の優遇、デタラメぶりがいたるところで見られる。なぜ容認してきたのか。

2、固定資産税の「課税漏れ」（実際は課税見逃したが）が新たに明らかになっているが、「5年権限」を厳正に発動すべき。

3、同じ同和对策事業での土地取得なのに、一般会計と特別会計での保有を区分した理由は、

4、「放置土地」を早期に払い下げ完了する現実処理と、乱脈同和行政がなぜ起きたか総括すべきという根本問題の解決をどうするか。

旧「同和」特別体制の早期終結を

「差別の源」を解決すること（貧困、無法、偏見：など）こそ重要では。

1、継続の根拠としている「厳しい差別ある限り」には重大な矛盾がある。

2、生活・住環境などの実態にそぐわない事業・予算そのものが「問題の解決」に逆行している」と指摘。

入札制度に不備はないか

19年度から検討に入る

山田壽一議員

Q 町の入札制度について指名業者の選定基準で、経営審査、技術者、資格等の問題、事業実績とかで査定されていると思うが、町内業者の育成を重んじ、どのような形で指名業者の選定方法をしているか。

A 総務主監

原則、2年に1回、指名願いの届けを受理している。中間年については経営審査、結果通知の提出を求め、それに基き毎年4月に隔年の格付審査をしている。指名基準を5月から翌年4月までのサイクルとし、業種ごとに指名、格付区分について

A 総務主監

個別の事例については、入札執行の中で結果として、そういう事例があるというご指摘だろうが、町の入札基準にしたがっている。

Q 私もいくつかの入札の結果を見て、その業者がそれなりの技術者、事業実績が、あまりにも劣っている業者に落札しているというのを聞きくがどうか。

A 総務主監

個別の事例については、入札執行の中で結果として、そういう事例があるというご指摘だろうが、町の入札基準にしたがっている。

Q 設計価格を設計事務所が積算していますがその金額が本当に妥当かどうか行政が判断できるのか。設計事務所が出した金

額を鵜呑みにして提示しているのであれば業者側も納得できない。妥当な金額かどうか判断できる人材を適材適所に配置していただきたい。

A 総務主監

外注、コンサル、設計事務所の設計内容が適正かどうか厳選にチェックを強化していきたい。

Q よく検討いただいて妥当な設計価格、そして業者のことも考えて赤字にならないようにしていただきたい。そこで、圃場整備が終わる、下水道工事もあるとわすれずで終わるが今、土木業者、建設業者の方々は本当に困っている。今後行政はどう考えるのか。

A 総務主監

公共工事の発注のあり方等が国レベルでも検討されている。1つは、指名競争入札から一般競争入札へ移行を拡大する。2つ目は総合評価方式の入札制度を導入する。総合評価方式は単に価格だ

けでなく、品質面を考慮した技術力を評価する。たとえば金額が安くても、総合力で業者に仕事を発注する制度ですが、がらりと変わるので19年度から検討に入っていきたい。

一方では「官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律」というのがあり、これは町内業者の育成を目的とするものである。これら一般競争入札や制度改正については甲良単独ではなく近隣町とも共同研究をしていきたい。

甲良町建設工事指名基準（抜粋）

- ①建設業法第3条の規定に基づき許可業者
- ②新規に入札参加資格業種毎を有した者は、1年間指名しない。
- ③町税および各種納付金を完納していること。
- ④法人の場合は、代表者並びに配偶者に滞納が無いこと。
- ⑤営業所から本社に変更した場合、1年間は営業所扱いとする。

町営林の管理費は 今後も続くのか

5年後は大幅に縮小

Q 町営林の管理について、現在年間600万近い管理費がかかっているが、これからも続けるのか、財政の苦しい中どのように考えているか。

A 総務課長

現在では9割方育成事業は進んでいる。あと5年ほどで完了する見込みで、以降は経費的には大幅に縮小できる。治山治水の観点から山が荒れないように努めながら作業費用の削減に努める。

Q 町営林、大滝山林へ町が出資してきた金額の累計と収益は。

A 総務課長

昭和43年以降の累計で3億1、300万円です。うち起債が1億9、



臨時議会

議案（4件）

- 1、滋賀県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更協議収入役の廃止、会計管理者の設置
 - 2、職員の勤務時間休暇等に関する条例の一部改正
 - 3、課設置条例の一部改正
地域振興課を産業振興課に改めその他所管業務を見直す（グループ制の導入）（別掲）
 - 4、平成18年度下水道事業特別会計補正予算
事業量の増加
9、818万円
- 工事場所
北落工業団地
国道307号線
金屋面整備

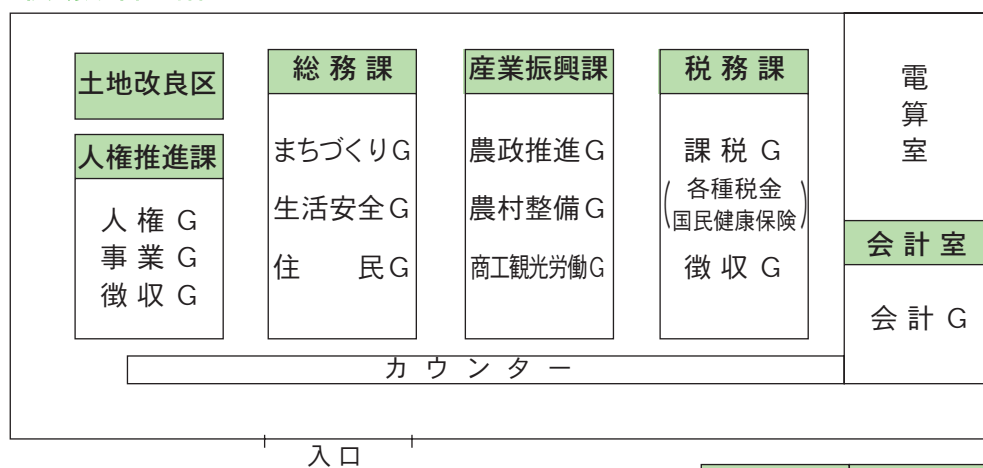
役場グループ制 及び 配置図

※Gはグループを表す

役場庁舎 2 階

議 場	会 議 室		総 務 課
			行政 G ・ 財政 G
	議 員 控 室	議 長 室	議 会 事 務 局
			議 会 事 務 局 G

役場庁舎 1 階



庁舎別館

建設課	水道課
建設 G (下水道)	水道 G

町公民館

教育委員会
教育総務 G
教育指導 G
生涯学習 G
人権教育 G

※地域振興課は産業振興課に課名変更し、役場庁舎 1 階に移動

せせらぎ福祉センター内グループ制 及び 配置図

※Gはグループを表す

せせらぎ福祉センター 2 階

温水プール	香良の湯					
		社会福祉協議会 老人会事務局	吹き抜け	居宅介護 事務所	ヘルパー ステーション	デイサービス ルーム



保健福祉センターの介護の受付が新設されました

せせらぎ福祉センター 1 階

温水プール	保健福祉課	ロビー	保健福祉課	多目的研修室
	保健 G 福祉 G		介護 G	

入口

議会構成

平成19年4月1日現在
◎印は委員長
○印は副委員長

【議長】

北川 豊昭

【副議長】

川副 兵右衛門

【総務民生常任委員会】

◎藤堂 与三郎

宮本 一起

北川 豊昭

奥山 豊

○山田 壽一

田中 清勝

西澤 伸明

【産業建設文教常任委員会】

◎大野 與一

池田 幸夫

川副 兵右衛門

河上 達次郎

○北川 孫之丞

大町 善士雄

中田 要治

【予算・決算常任委員会】

◎池田 幸夫

大野 與一

宮本 一起

北川 孫之丞

西澤 伸明

河上 達次郎

山田 壽一

○田中 清勝

大町 善士雄

川副 兵右衛門

藤堂 与三郎

中田 要治

奥山 豊

【議会運営委員会】

◎川副 兵右衛門

大野 與一

田中 清勝

○藤堂 与三郎

池田 幸夫

議会常任委員会の所管

1、総務民生常任委員会

7人

総務課、会計課、税務課、保健福祉課、その他
以上の所管に関する事務

2、産業建設文教常任委員会

7人

産業振興課、建設課、水道課、人権推進課、
地域総合センター、教育委員会
以上の所管に関する事務

3、予算・決算常任委員会

13人

予算及び決算に関する事務

一部事務組合議会議員

彦根市・犬上郡営林組合

池田 幸夫

大野 與一

大滝山林組合

大町 善士雄

田中 清勝

中田 要治

奥山 豊

湖東広域衛生管理組合

川副 兵右衛門

西澤 伸明

彦根犬上広域行政組合

北川 豊昭

藤堂 与三郎

委員会等委員

彦根休日急病診療所運営委員会

藤堂 与三郎

営林委員会

大町 善士雄

藤堂 与三郎

奥山 豊

山田 壽一

国民健康保険運営協議会

藤堂 与三郎

山田 壽一

介護保険運営協議会

藤堂 与三郎

山田 壽一

学校給食センター運営委員会

大野 與一

北川 孫之丞

水道事業運営委員会

北川 豊明

川副 兵右衛門

公共下水道事業審議会

北川 豊明

川副 兵右衛門

大野 與一

ふれあいいきいきサロン



ボランティアさんのあたたかい協力に支えられて、皆さんいつでもお元気で・・・

今回は、桜の花もほぼ満開の小川原河川敷でボランティアさん手作りのお弁当をいただいた後、皆さん、歌に合わせて体を動かすなど楽しいお花見を満喫された。

ボランティアさんのあたたかい協力に支えられて、皆さんいつでもお元気で・・・

お楽しみ会は、平成8年に発足し、75歳以上のお年よりを対象に、月1回開催されている。現在51名の会員で、12名のボランティアさんの支援により毎月テーマをもって講演会や会話をしたり、保育園児との交流会、習字や健康運動体操など、会食を取り入れて「みんな、仲良く」和やかな雰囲気を楽しまれている。

お楽しみ会は、平成8年に発足し、75歳以上のお年よりを対象に、月1回開催されている。現在51名の会員で、12名のボランティアさんの支援により毎月テーマをもって講演会や会話をしたり、保育園児との交流会、習字や健康運動体操など、会食を取り入れて「みんな、仲良く」和やかな雰囲気を楽しまれている。

小川原「あだのしみ会」

議会日誌

2月

- 5日 第1回臨時議会（開会）
- 16日 第4回滋賀県町村議会議長会理事会
- 19日 国保運営協議会、介護保険運営協議会
- 20日 例月出納検査・定期監査
彦根休日急病運営委員会
- 21日 水道運営委員会・下水道審議会
- 22日 彦根市・犬上郡営林組合定例会
彦根犬上広域行政組合定例会
- 23日 学校給食運営委員会
- 23～24日 社協理事視察研修会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 大滝山林組合定例会
- 28日 滋賀県町村議会議長会定期総会・正副議長研修会

3月

- 4日 犬上川クリーン作戦
- 5日 3月定例議会（開会）
- 7日 予算研究会
- 9日 総務文教常任委員会
- 12日 民生産業建設常任委員会

- 13日 中学校卒業式
- 16日 河瀬駅に新快速を停車させる期成同盟会設立総会
- 19日 3月定例議会・一般質問（閉会）
- 20日 東西小学校卒業式
- 22日 例月出納検査・定期監査
- 23日 東西保育センター卒園式
- 27日 議長杯町ゲートボール大会
- 28日 第5回滋賀県町村議会議長会理事会
- 29日 広報特別委員会

4月

- 2日 教職員着任式
- 5日 東西保育センター入園式
- 9日 東西小学校入学式
中学校入学式
- 11日 広報特別委員会
- 13日 犬上郡町村議会議長会総会
- 19日 広報特別委員会
- 22日 多賀大社古例大祭
- 24日 例月出納検査・定期監査
広報特別委員会
- 27日 全員協議会

せせらぎ

春の樹木花粉がおおよそ5月の終わりをめざして猛威をふるっています。今や花粉症で苦しんでいる人は全国で2000万人と推定されます。花粉症、またアレルギー性鼻炎で最も有名な原因はもちろん杉花粉です。戦後、建築資材として活用されるべく植林された杉がバブル崩壊の時期より手入れされず、杉の木自身が環境の悪化で枯れてしまうので必死で子孫を残そうと花粉を飛ばしているためです。もちろんそれに加えて、都市化（自動車の重用、住宅様式の変化、地面のアスファルト化等）、地球温暖化も花粉飛散の環境因子となっています。

地球温暖化といえば、元米副大統領アル・ゴア氏が今年1月に公開した映画「不都合な真実」の書籍版を書店で見かけました。地球の未来を脅かす地球温暖化に警鐘を鳴らす本なのですが、彼が環境問題を強く意識したきっかけは彼の息子が交通事故にあい奇跡的に命をとりとめたその時、愛する者に残すべき未来がこんな状態ではないのかと愕然としたのだそうです。

自分を省みてもそうですが、私たち人間は、自分たちに間近に迫った危機が来なければ環境問題に取り組むことができないとしたら、私たちがむかえる未来とは一体どのようなものか想像できません。地球温暖化の影響かどうかは別に、異常に少なかった降雪による水不足は農作業、農作物への悪影響と、暑い夏をむかえるのかと思うと複雑な心境です。何か自分にできることを一つでも実行・・・

藤堂与三郎